



COFFEE & JAZZ 創作

そうさく

「わらしべピアノ」を包む、コーヒーの香り。



高松市と徳島市の中間にある町が「東かがわ市」である。手袋の生産が全国九〇パーセントを占める町だ。国道11号線沿いにあるこの店は、高松から徳島に向かう途中、一度通過した。「創作」という名前のせいもあって気になった。徳島から再び、戻った。

カウンターにテーブル席が一つ。目立つのは乱雑に積まれたコーヒー豆の麻袋だ。それと焙煎器である。コーヒー豆の香りが店の隅々まで浸透している。コーヒーにブレンドするようにジャズが流れている。

注文したコーヒー。カップの受け皿には「創作」の無骨な文字が盛り上がるように描かれている。

「カップと受け皿は譲ってもらいました」
マスターの山田明典さん（五十五歳）は、店の名前は自分の創作ではないことは暗示した。

「創作」という店が松山に近い大州市にもある。大州市の「創作」は三十五年前にジャズ喫茶として開店、徐々に食事を出すようになり、現在はジャズをBGMにしたイタリア料理店だ。主人は岩野文さん（五十八歳）。

「三十年前頃、山田君は客として来ていました。真面

目な青年でしたね。『創作の名前を使わして欲しい』との連絡があり、器も余った分があったので譲りました」

四国の東と西の町にある「創作」。結びつけたのは九州に向けて伸びる佐田岬半島にある伊方原発だ。

マスターは、地元の県立高校を卒業後、地質調査会社に就職、伊方原発の地質調査などにも従事した。

「一年のうち半年以上は現場泊まりでしたね。休みのときはジャズ喫茶を回っていました」

入り浸っていたのが、大州の「創作」だった。

小学生の頃から友人の家にあったオーディオが羨ましくて仕方なかった。ようやく、社会人になって購入した。

ジャズと出合つのもその頃だ。なんとはなしに三本松の小さなレコード店に入った。店番のお姉さんが見ている。客は他にはいない。

手ぶらでは帰り難い状況だ。宝くじを引くように、偶然、一枚を手にした。マイルス・デイビスの「ラウンド・アバウト・ミッドナイト」。

「CBSソニー盤の安いやつだった。マイルスも当時

は知らなかった。それから、ジャズレコードを買ったようになった」

一九八七年、二十七歳のとき、家庭の事情などもあって会社を辞め、実家に戻った。大州の「創作」を参考に深夜喫茶を開いた。当時からライブをしていた。現在の店は五年前からだ。ライブを聴くようになってベースの音に耳を傾けるようになった。

「ベースの音が浮いてくる感じ。それまでドラムやサクスの音ばかりに引きずられていた」

「コーヒーを自家焙煎にしたのは、最初の店を始めてまもなくだ。

「スムーズな味を心掛けた。若い人が『苦くてコーヒーは飲めない』と言つので、それでは飲めるようにしてやること」

店で大きな顔をしているのはグランドピアノだ。

「このピアノは『わらしべピアノ』ですよ。使わないから置いて、で始めました。最初はアップライトのピアノでしたが、それが今ではこのピアノです。ど

んどん人を紹介していく間に良いものになりました」

店のガラスドアを額縁にして虎丸山が見える。その背後で大きな稜線を描く讃岐山脈の向こうはもう徳島県だ。

山脈の懐には禅宗・宝光寺があり、本堂では毎年、マスターたちが企画したジャズコンサートが開かれている。

「宝光寺コンサート」は八年ぐらい前にスタートした。

「これを聴いてください」

マスターが掛けたのは店で録音した西尾賢・小山彰太・伊藤啓太のトリオでアルバム「ソボブキ創作ライブ」。

この演奏の中で何人かの声が入る。「イエッ」。常連客とマスターの声だ。

高松と徳島のジャズロードをつないでいる店だ。

営業時間

たそがれ時から9時ごろまで

COFFEE & JAZZ 創作

香川県東かがわ市落合257-1

TEL 0879-24-1883

営業時間 月・水曜12:00~21:00

金・土曜15:00~24:00

日曜15:00~21:00

定休日 火曜

